

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区別所7-20-1</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設</p> <p>③施設の概要 【開館】平成25年1月4日 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム(定員45名)</p>
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度323,956千円、令和2年度322,001千円、令和3年度319,000千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 109,495人(前年度74,517人) ・稼働率 93.6%(前年度88.0%) ・利用率 70.2%(前年度65.7%) <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用人数等の制限を実施した期間がある。</p> <p>▶令和2年度同様に新型コロナウイルスの感染状況が収束には至らず、利用件数、利用人数、利用率については、令和2年度と比べやや回復をしたが、低調な結果となった。</p> <p>◇業務実施状況</p> <p>感染状況の影響で、当施設の大型一大イベントである「コミセンまつり」他、14回の主催事業を中止としたが、市民に根強い人気がある「駅前寄席」「武蔵浦和シネマ」等は、年間開催件数を抑えて開催が出来た。また、今年度より新しく主催事業として始めた「古文書解読講座」は、参加者からの評価が高い講座となった。他、大型イベントである「むさしうらわ鉄道まつり」は、感染対策をしっかりと講じながら開催出来たことで、地域コミュニティ活動の推進に大きく貢献出来るものとなった。</p>

②維持管理業務の状況

ア)設備管理業務

設備機器保守点検年間計画に基づき業務を実施した。また、経年劣化に伴う共用部のトイレ、エアコンの不具合等、施設運営に影響する突発的な小規模修繕を迅速に行った。また、修繕報告書は、毎月開催される市との定例会にて報告を行った。

イ)警備業務

人的警備、機械警備を連携させ、徹底した保安業務に務めた。施設内警備については、24時間体制の下、防犯カメラ監視業務、定期巡回業務を行い、不審者・不審物の早期発見に努めた。また、専用駐車場・駐輪場の事故、トラブルが無いよう細心の注意を払い安全管理に努めた。

ウ)清掃業務

昨年に引続き感染拡大防止のため、サウスピーア施設全域に対して消毒業務を徹底して行った。また、施設から排出される産業廃棄物減量化、資源化のため、施設毎の担当者が集まる調整会議にて認識を共有させた。

③その他の業務

施設の環境衛生の観点から、清掃職員のみならずコミュニティセンター職員協同で共用部を中心に消毒業務を徹底して行った。

(6)収支状況

①収入

・指定管理料	319,000千円	(前年度322,001千円)
・文化事業・コピー機収入	1,384千円	(前年度 987千円)

②支出

・人件費	158,392千円	(前年度163,931千円)
・事務費	92,537千円	(前年度 86,100千円)
・施設管理費	66,973千円	(前年度 70,357千円)
・文化事業費	1,874千円	(前年度 970千円)

【自主事業】

①収入	0千円	(前年度 0千円)
②支出	0千円	(前年度 0千円)

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応

令和3年度10月に「利用者満足度調査」を実施した。(回答者数408名)本年度は、総合評価において98.7%と昨年度に引続き高い評価をいただいた。駅前の立地ということもあり、予約のとりづらさを指摘する声も多くあったが、「施設」「清掃」「職員」と多くの項目で高い評価を得られた。また、多目的ホール利用者懇談会(書面開催)を開催した中で、Wi-Fi環境の整備を求める声もあり、令和4年度前半に工事計画を実施する予定とした。

(8)その他

①エスカレーターの乗りづらさを指摘する意見に対し、人感センサーの角度を変え改善を図った。
②館内給水器が不衛生との意見に対し、ノズルの形状を変え感染拡大防止に対応した。
③男性個室トイレ内に、サンタリーボックスが必要との要請に対し、令和4年4月設置予定とした。
④ホームページ上で希望する項目の画面が分かりづらいとの意見に対し、全面改修を行った。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる主催事業への取組み	<p>多世代で学び、地域のことを考え、発信ある場「SDGs推進プロジェクト」を主催事業中心において展開した。今年度は、34事業89回の主催事業を計画していたが、コロナ禍の為、中止となるものもあり30事業79回の開催結果となった。</p> <p>実施できた主催事業の中では、「むさしうらわ鉄道まつり」(協力:埼玉大学鉄道研究会)、オリンピック・パラリンピック「ことばのちから展」、「武蔵浦和クイズフェスタ」等は、SDGs推進プロジェクトの基、ゴール17にある『パートナーシップで目標を達成しよう』を実践した事業であった。これらの事業は、市民の皆様より非常に高い評価をいただいた。</p>
職員教育への取組み	<p>毎年2回開催している職員研修会の今年度第1回目は、「埼玉県におけるSDGsへの取組み」「埼玉県誕生150周年埼玉の魅力」の2部構成で県担当職員により講話を受けた。県のSDGsへの取組みについては、当施設の主催事業を中心として進めていることもあり、大変有意義な研修会となった。第2回目は、施設利用者への緊急時対応として「応急手当講習 普通救命講習」を予定していたが、感染状況悪化の為、中止とした。</p>
危機管理体制への取組み (緊急時対応訓練への取組み)	<p>サウスピアは洪水浸水想定区域内にあたり、施設内のシニアふれあいセンターが要配慮者利用施設でもあることから、消防防災訓練時に浸水を防ぐ為の止水板設置訓練及び避難確保計画に基づく指定された場所への避難訓練を実施した。</p> <p>また、ビル火災の煙による死傷者が報道される中、煙を回避させる排煙装置の取り扱い等の初動対応訓練を新たに取り入れ実施した。</p>
経費縮減への取組み	<p>感染状況が悪化の中、市より発出される指示に基づき、適正な人員配置と全体経費の縮減に務めた。但し、光熱水費については、世界的なエネルギー資源高騰に伴う経費上昇により大変厳しい結果となった。令和4年度もこうした状況が継続するという視点から、施設利用者にご不便をお掛けしないことを前提として、無駄のない経費縮減に努力したい。</p>

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

<p>①『市民の平等利用』のため、「生涯学習」「地域交流」「地域支援」の基本方針の基、法令を遵守し、施設運営を円滑に行った。特に、公共施設予約システムの管理、多目的ホール抽選会、貸出ロッカー抽選会、仲間募集の告知等は、公平・公正な観点からの運営を図った。また、『利用者サービスの向上』の為、職員研修会、利用者懇談会(書面開催)を開催し、安心・安全への取組みにおいて、消防防災訓練、感染拡大防止対策の徹底を実践した。『利用促進』については、利用者満足度調査を基に、ハード面においてWi-Fi環境整備の立案(令和4年度開始)、ソフト面においてホームページの刷新等を行った。</p> <p>②経費の節減については、資源エネルギーの高騰に伴い、光熱水費の予算数値を厳守することはできなかった。但し、そうした中、エアコンの温度管理、照明の間引き等、節電を中心に出来る限りの経費節減に務めた。また、コロナ禍の開設時間制限に伴い、適正な人員配置による人件費他、事務経費、修繕費等の経費抑制に務めた。</p> <p>③適正な管理運営の確保については、各施設の利用客の様々な意見・要望を集約し、課題解決に務めた。また、感染状況が悪化傾向であったため、特に環境衛生に力を入れた。設備・警備・清掃を含め大きなトラブルもなく順当に業務を進めることができたことは、大いに評価出来るものとなった。こうしたことは、各施設間との連絡調整会議、代表者連絡会議及び指定管理者責任者会議等を開催して、課題解決にあたった成果といえる。</p>

(2)さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 **(B)** ※A~D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する取組

- ・鉄道路線から近い立地にあることから鉄道関連の事業や、ガラス窓に面したレクリエーションルームで夜景を見ながら運動する事業といった施設の特徴を生かした事業を開催することで、施設認知の向上・施設利用のきっかけづくりに寄与した。
- ・駅前寄席や映画上映等、例年好評な事業を継続しつつ、エコキャップアートやクイズフェスタ等、型に囚われない新しい事業を開催することでも、施設認知の向上・施設利用のきっかけづくりに寄与した。
- ・大学、高校、保育園や鉄道会社等あらゆる活動団体と協働して事業を開催し、地域交流に寄与した。

②経費削減に関する取組

- ・利用に支障の無い範囲で、照明の間引きや空調の温度設定を随時見直して調整した。
- ・パンフレットや資料を大量に印刷する際はリソグラフを使用し、印刷に係る経費を抑えるよう努めた。

③適正な管理運営の確保に対する取組

- ・内部研修により、指定管理業務を改めて見直すきっかけとした。
- ・埼玉県職員に講師を依頼し、埼玉版SDGs及び埼玉の魅力について知識を深め、今後の事業企画や利用者への発信方法を検討する学びに繋がった。

2 総合評価

新型コロナウイルス感染症拡大対策を講じ制限がある中、利用者満足度を高める工夫を凝らすことで、受付件数や利用人数に回復が見られており、市が求める水準を満たしていることから総合評価をBとした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、工夫を凝らした文化事業により地域交流・地域支援に寄与し、利用者満足度の高い施設を目指してもらいたい。

施設利用者アンケート調査において、おおむね高評価となっており、引き続き利用者の目線に立った対応・管理運営を行なってもらいたい。